

現場見学会

柳井商工高等学校 / 建築・情報科



初めて体感する現場に生徒の皆さんも興味津々の様子。ここでは、可動床式プールの基礎部分や床暖房の設備など完成すれば隠れてしまう貴重な部分も見学



未来を繋ぐ建築物に
将来の夢、膨らむ！

山口県建設業協会では、土木・建築分野を学ぶ高校生を対象に、建設業の魅力や役割を実際に感じてもらうため、平成2年から毎年「建設現場見学会」を実施しています。

今回は6月17日、山口県立柳井商工高等学校建築・情報科で学ぶ2・3年生、40名の生徒が参加した現場見学会を取材しました。今回の見学会では、2011年に山口県で開催される「おいでませ！やまぐち国体・やまぐち大会」を前に建設される2つの競技施設を訪れました。

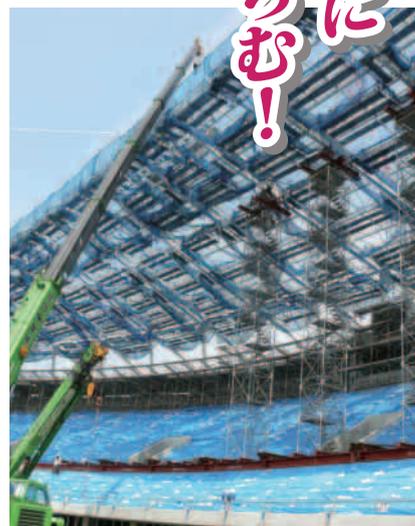
まず最初に向かったのは、山口きらら博記念公園水泳プール新築工事の現場です。一昨年度から着工し、今年度末に完成予定の同施設。会期中は水泳競技種目の会場となり、国体後は県民スポーツの中核的施設として利用されます。

することができました。

きらら博記念公園内で昼食休憩をとった後、午後からは維新百年記念公園陸上競技場新築工事の現場へ。新しい陸上競技場は、昭和38年開催の「やまぐち国体」の際に建てられた競技場を解体した跡地に建設中で、国体では開・閉会式や陸上競技を行うメイン会場として使用されます。

現場見学の前に、担当者から現場内の安全管理や環境に対する取り組み、工事の概要などが話され、屋根に採用されている「ハイブリッド構造」について詳しい説明がありました。ハイブリッド構造は、異なる構造材料や技術を組み合わせることによりさらに剛性を向上させる技術で、競技場の屋根は鉄筋コンクリートと鉄骨が組み合わされています。

現場ではちょうど、客席に張り出した屋根を仮受けしている足場の解体作業が行われていました。フィールドに出て見上げると、手際よく解体された足場の隙間から



大きな屋根が姿を現していました。屋根を支える2本のメインマストやそれを吊るための太いケーブル、普段見ることの少ない巨大な120tクレーンなどを前に、そのスケールに圧倒されながらもじっくりと現場を見渡す生徒の皆さんの様子が印象的でした。

引率された同校の山本妙生先生は「授業で見ている平面の世界が実際に立体物になっていく様子を見て、建築のイメージを膨らませて欲しいですね。学んでいる内容が現場でどのように生かされているか、施工過程を見てより理解を深めることができれば」と、見学会の効果を期待していました。

見学後、将来の夢は建築士という女子生徒さんに話を聞いてみると「現場見学は初めてでしたが、実際に建設中の建物を目の前にするとやはり感動しました」「なかなか経験できない体験で勉強になりました」など様々な感想が返ってきました。

「建築に携わる人間として、プラインドを持つて仕事をしたいける社会人になって欲しい」とおっしゃっていた山本先生、その思いが生徒たちしっかりと伝わることを期待しています。



山本妙生先生

2010年度 高校生現場見学 参加校 (延べ11校 367名)

■土木系学科

工事名(施工地)	実施日	対象生徒	学校名・学年
西岐波吉見線持世寺橋上部工事 (宇部市持世寺)	5月14日	24名	下関中央工業高等学校・2年生
宇部湾岸線橋梁工事(宇部市小串)	6月22日	40名	岩国工業高等学校・1年生
山口きらら博記念公園プール工事 (山口市朝田)	5月18日	31名	徳山商工高等学校・2,3年生
美東長登トンネル工事(美祢市美東町)	6月7日	36名	萩商工高等学校・2,3年生
真尾石原川砂防堰堤工事(防府市真尾)	6月25日	38名	田布施農業高等学校・1年生
維新百年記念公園陸上競技場新築工事 (山口市維新公園)	8月20日	36名	山口農業高等学校・1年生
	8月27日	15名	宇部西高等学校・2年生
合計	7校	220名	

■建築系学科

工事名(施工地)	実施日	対象生徒	学校名・学年
維新百年記念公園陸上競技場新築工事 (山口市)	6月3日	35名	下関中央工業高等学校・2年生
	6月7日	32名	萩商工高等学校・2,3年生
山口きらら博記念公園 水泳プール新築工事(山口市)	6月17日	40名	柳井商工高等学校・2,3年生
	6月22日	40名	岩国工業高等学校・2年生
合計	4校	147名	